



スキー協通信

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル4F 03(3971)4144
ホームページ: <http://www.tokyoskikyoo.org/> E-mail: info@tokyoskikyoo.org

No.344

発行

2012.11.1

発行責任者・小川 洋

スキーセミナー2012レポート



シーズンも近づき、セミナーが目白押し

◇水上スキーのロープを使って身体の傾きを確認



練馬ヒューマン「スキーフォーラム」



◇スクリーンを効果的に使った指導員についての講義

目次

スキーセミナー2012報告	2-4頁
第30回テニス交流会報告	4頁
クラブ紹介 練馬ヒューマン「第4回スキーフォーラム」	5-7頁
山スキー委員会より/競技スキー委員会より	8頁
舞子ポールレッスンの案内	9頁
コラム「雪友物語」⑥	10頁
information	11頁
11・12月のカレンダー	12頁

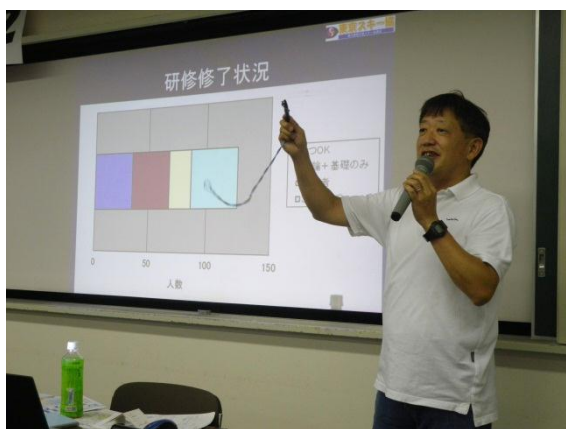
今年のスキーセミナーは、指導員の理論研修科目に対応するものでありながら、一般のクラブ員にも分かりやすく工夫されたプログラムが組まれました。現在の組織活動についての分析、スキー事故の予防、スキーの歴史と変遷に関する講義は、スキーヤーにとっては興味深い内容だったのではないのでしょうか。スキーを中心スポーツの取り組みを多面的に学ぶという意味で、貴重な一日となりました。午前、午後を通してお疲れさまでした。以下、教育技術局のまとめです。

テーマ 1 : 「指導員の役割・権利・義務などを考えてみよう」

午前中、第一のテーマは、東京スキー協副会長の福島明さんが講演しました。

福島さんは冒頭、「東京スキー協の組織がどうなっているのか」生々しい話をしたい、と切り出しました。今回のセミナーの開催目的は、多面的に学ぶことであり、理論研修の受講率アップも目指すものであることを強調しました。指導員の理論研修扱いにするために、指導員規定の理論研修科目の①～⑤を、3時間かけて研修しなければならないことを述べました。

東京スキー協の第45回総会決議では、①高齢化とそれに伴う世代交代が出来ていない、②会員が減少し続け、活動状況、財政的にも厳しい、③宣伝不足でスキー協を知らないスキーヤーが圧倒的に多い、ということを示しています。これらの課題解決のために、指導員の果たす役割が重要であることを強調しました。



このような状況の中、東京スキー協の指導員の年齢構成は、60～64歳が一番多く、20歳台が1名、25～34歳はいないことを明らかにしました。指導員規程は、改訂を経たものが全国スキー協のホームページに掲載されていること、指導員の義務は年次登録と研修であること、研修は2年に1度受講すること、ただし新しく指導員に合格した人は翌年に受けなければならないことなどを説明しました。

また、応用発展技術研修を受けていない人が多いことを指摘し、スキー協の開催行事以外に外部講習を受けた人は、「指導員研修（応用技術）終了報告書」（様式16号）を受講後提出してほしいと訴えました。

最後にまとめとして、①クラブを大きく、活性化していくうえで指導員の果たすべき役割がますます重要になってきていること、②指導員の権利や義務を再考したうえで、（指導員にとっては理解済みのことではあるが）復習としてあえて訴えたい、ということ、③指導員以外の参加者にとっては難しい部分もあったと思うが、クラブやスキー協を発展させていくうえで指導員とはなにか、そしてぜひ指導員を目指してもらいたい、と話しました。

テーマ 2 : 「スキー事故の予防と対応」

第二のテーマは、全国スキー協常任理事、環境・安全対策局の五十嵐民夫さんの講演です。

五十嵐さんは、参加者に「スキーをしているときケガのことを考えているか」と問いかけ。スキーは非日常であり、事故が発生しやすいこと、事故をなくすためには事前にバーンの状況や気候のことなど調べておくことが重要であることを強調しました。

次に、最新のスキーメイト 146 号に掲載されている、全国大会での事故を例に分析をしました。初めて使うワックスとは「予習」をしていないことであり、ビンディングの開放値には国際基準があり、数値を変更することは危険を伴うことが指摘されました。



滑っている時、自分から出したスピードは止められること、スキーをしている時どのように体を使っているのか感じ取ってほしいこと、足元を見ていたら技術はうまくならないことも述べました。

テーマ 3 : 「スポーツ連盟の他種目の経験から学ぼう」

午後からは、全国卓球協会副運営委員長・東京卓球協会常任運営委員の岩波道子さんからお話を伺いました。

現在全国卓球協では、協会の空白地域克服の取り組みをしているとのこと。「スポーツは万人のために」を貫いて活動しており、被災地支援の活動では福島大会を開催したことが報告されました。スキー協でも「誰もがスポーツを」

と考えるならば、全てのスキーヤーを視野に入れた活動を、と問題提起がされました。

全国大会は 800～1000 人の参加で開催しますが、卓球台 1 台毎に使用する面積が小さくて済むので、工夫し甲斐があるとのこと。歴史を振り返ると、指導できる人で数人からスタートしたのが 1976 年、それから大会をやりながらクラブを大きくしてきた実績があります。

また、一度参加した人がリタイヤしないシステムを確立し、「敗者をつくらない」ペアマッチの種目が評価を得ており、日本体育協会とスポーツ連盟が参加選手を取り合っているそうです。自分たちが大会を運営する中で、「人間としての発達」を実感しているという声が聞こえてくるとのこと。「全国大会」に見合う大会をつくろうと奮闘しているとのことでした。

(以上報告、近藤安宏)



テーマ 4 : 「スキーの歴史と教程の変遷を学ぼう」

最後に行われた、全国スキー協技術教育局長、荻原正治さんの講義では、人類の文化遺産であるスキーの歴史と用具発達の歴史、スキー協教程の変遷が語られました。

スキーの歴史は、レディエー洞窟の壁画に始まり、フリチョフ・ナンセンの「スキー賛歌」の紹介、レルヒによる日本への伝来、長岡外史による民間への普及と話が進められました。

技術に関する歴史は、1930年代のハンネスシュナイダーによる世界で初めてのパラレルターンから話が始まります。その後エミール・アレのフランススキー術（ローテーション技術）が主流を占めますが、戦後のオーストリア教程が発表されると、フランスとの間に技術論争がおきました。その後スキーブーム到来の中、インタースキーを通じて「世界のスキーは一つ」が定着していきます。

用具発達の歴史では、まず板の変化として板ばね構造となったこと、エッジが付いたことが挙げられました。スキー靴はプラスチック化（ハイバックブーツ）が技術の変化をもたらしました。ビンディングはかかとが上らなくなったことと、安全性の向上が大きな変化をもたらしました。

最も大きな変化は、カービングスキーの登場。荷重移動による回転技術が可能となり、ロッカースキーの登場など、現在も用具は進化し続けています。

教程の変遷について。スキー協は4つの教程

（1980年、1985年、1994年、2004年）を発表しています。「真下への横滑り左右連続」は80年教程でも取り上げられており、85年教程ではシュープが導入されました。94年教程では、ターンは横ずれさせる技術と横ずれを止める技術で構成されているとして、カービング技術習得の道筋を明らかにしました。04年教程は、体軸の傾きによりカービングスキーの回転性能を生かす教程といえます。

最後に、教程改訂の要因・背景、改訂の必要性について触れ、講義を終えました。



（以上報告、出崎福男）

第30回テニス交流会を開催しました

9月29日から30日の日程で第30回テニス交流会を開催しました。

今まで10年以上利用していた山中湖・スペランザ丸石荘が全館貸切のために、今回は石打塩沢にある江戸川荘を利用しました。江戸川荘は名前の通り江戸川区が所有し、現在は指定管理者が運営をしている宿です。部屋も設備も充実していて食事を豪華です。人気はミストサウナで、細かい霧のような蒸気が全身を癒してくれます。

今回の交流会の参加者は6人+現地ゲストで民宿「亮新」の女将さんが日曜日の午前中に遊びに来てくれました。土曜日午後から4人で宿が所有しているコートで汗を流し、その後ゲームコーナーに設置されている卓球で大盛り上がりでした。

日曜日は、土曜の夜から来たメンバーと、朝、現地集合したメンバーで終日試合を楽しみました。参加者で今後の方向性を考えました。その中で、①夜の交流会が楽しいので泊りがけが良い ②場所はもう少し近くて便利なほうが良い（舞子は高速バスを利用すれば片道3000円で来れるので有かも） ③参加費をもっと安くすることで何とか来年も継続できないか？ という意見が出されました。

（みなとしゅぷうる 小川洋）

練馬ヒューマン主催 第4回スキーフォーラム 2012/10/13(土)

練馬区石神井庁舎にて

報告:練馬ヒューマン S.C. 干川清一

秋晴れの石神井公園で第4回のスキーフォーラムを開催しました。参加者はトライアルのホープ和田敬史さんほかヒューマンから8名プラス子供2名、今回はメインプレゼンターをヒューマンの武田健一がつとめ、助言者として元SIA教師、こなゆきの五十嵐民夫さんに参加してもらいました。

フォーラムは「考えることに意義がある」、「結論は出なくてもよし!」という方針なので、報告が難しいですが、ここは敢えて個人的な感想も交じえてレポートしてみます。

●今回の一番大きなテーマ「教えたがり・教わりたいがりからの脱却」について、冒頭武田さんの解説がありました。

京都スキー協の行事参加者の増減を分析した資料によると、昭和50年代は「行事参加者＝教室参加者」でした。平成13年頃スキー人口が大きく減少しますが、参加者は平成9年頃から減衰が始まっています。つまり「世間のスキー離れ」がそのまま「参加者の減少」とは言い切れません。

この時期やっていたのは「スキー教室」と「バッジテスト」ですが、その後に参加人数の回復期があります。そのときは「教室への不参加」を認め、「ボード教室」を併設するなどの変化がありました。またスキーやボードをやらない世話役の「声かけ」が参加者を増やしたそうです。京都の行事の分析ではありますが、そのまま我々の問題にオーバーラップしてきます。

フォーラムでは、残念ながらこのメインテーマを議論する時間が取れなかったので(泣)、ここでプレゼンターの意図を読み解いてみたいと思います。

和田さんいわく「非日常性ですかね～。バスに乗り込んだ瞬間から楽しいです、スキーはむしろ二の次で、アフタースキーが一番楽しいかな?!」。

多くの人にとってもスキーとは、「わくわくドキドキ」であり「楽しみ・遊び」だと思えます。「上手になりたい」よりも「楽しみたい」、もしくは「楽しいついでに上達したい」のであって、参加者に勉強を強いる教室や、ひとの滑

りに点数を付けるバッジテスト、などでは参加者は増えません。参加者の「楽しみ」に、いかに指導員は協力できるか?を真剣に考えなくては、これからのスキー人口がなくなってしまう!そんな土壇場に我々は直面しているようです。

私にとってのスキーの楽しさは「ウオーッ!」という絶叫であり、ターン中の遠心力、そして頭から雪にダイブしちゃうクレージーさですが(コスプレ/女装もありますが)、そんな自分の楽しさを「胸を張って」教えていこうと思いました。スキー教ではダメです、スキー狂なのです。指導を前提とした「指導員」という名称がいけないのですかねえ、はたまた私が指導員に向いてないだけなのか…。



子どもはラクラク!
大人は?

●参加者からの質問「スクールで苦手な小回りを、毎年教わりますが、年ごとスクールごとに内容が変わるので、混乱しています。小回りでは一番大事なこと、小回りの基本はなんですか？」という問いに、「理解不能な技術は無視してしまえ!」、「板を回そうとするな、下に向けよ! 下を向いて踏めば板は自動的に曲がる」、「大事なものは“軸”と“リズム”だ」、「自分で感覚をつかむべし!」という回答がありました。投げやりにも聞こえますが、それはまさに“小回りの基本”のようです。キレてもズレても、軸がしっかりしてリズムがあれば、それは小回りです。

●太田紬ジュニア：千春さんと恒太郎くんが保育園で習ったアヒル歩きなどを披露。オフトレのヒントを提供しました。

●加藤典子による「簡単にできるコンディショニング講座」もありました。もう少し詳しく習いたかったです。

※時間の関係で触れることができなかったテーマがいくつもありました。すべて話し合っていたら一晩中かかりそうです。やむなくフォーラムを終えた後は、居酒屋でおとなのフォーラムとなりました。いや子供の講師2人も一杯やっていました、お疲れさまでした。

◆今回は講義をお願いしていたヒューマンの奥谷さんが出席できなくなったので、あらかじめ干川がインタビューした内容を、皆さんに配り駆け足で報告しました。疲れない、分かりやすいなど、ツボを外さない奥屋氏のアドバイスは、クラブ内でも定評があります。その指導法の秘密にせまってみました。

【プロフィール】

奥屋和俊、鹿児島生まれ。日本アルプスはもちろん、インドヒマラヤのジョギンⅡ峰を世界初登頂(壁面ルート)した。スキーは20代前半から始め、現在は練馬ヒューマンと労山練馬山の会の会員。自身で立ち上げた山スキークラブ「雪けむり」の会長でもある。

---スキーとは「滑落」であり「落下」すること---

【疲れない滑りとは】

- ・自分の体重でブレーキ、脚力ではない! → ベロに体重をのせるだけ
 - ・逆前後差を利用する = ローテーションでターン → ボクシングでゆっくり殴るように、斜面と平行に腕を出す
 - ・急斜面でいつでも止まれる小回り → 上から真下へ殴る!(肩も下げる)
- [その指導には、背景に山屋の経験や考え方があるようです。「安全」に麓まで滑ることは山屋にとっては絶対条件。ゆえに「疲れず」「安定して」滑ることは当然なのでしょうが、レース一色の私には無い発想でした…。しかしその一方で、]
- ・登山や普段の生活で落下はタブー、スキーはそのタブーを快樂に変える → 「滑落する喜び」なのだよ、スキーは! コントロールしながら落下していく、スキーとはそういうことです。

[過激な発言です。私はスキーを「滑るもの」「水平方向への移動」という認識でおりましたが、山屋はスキーを「滑落」であり「落下」とみているようです。下方向への移動であればこそ、そのエネルギーを効率よくスキーに活かし、「安全と落下」という矛盾を楽しむことができるようです。]

---それぞれのレベルに合わせて指導を---

【初級】（できることが増えていくから楽しい！そして自信がつく！）

- ・カッコ良くて楽な板の背負い方、ストックの持ち方をしっかり学ぶ
- ・安全な転び方（受身の要領、衝撃を少なく）を覚え、転び上手になる
- ・楽な起き方 ①転び直して板をフォールラインに垂直にする
②足場を作り両ストックを使って立つ
- ・登行 → 長い板のポジションを覚える → 動き回れる → 楽しい

【中級】中級者は自分の欠点を知っている → 後傾、視線が低い

- ・遠くを見る練習「私を見ながら滑って」
- ・林間コースを活用すべし
- ・前傾オーバーで滑る！
- ・順序を入れ替えながらトレイン → ゲレンデ巡り&ワンポイントアドバイス

【上級】落下していない人が80%、遠心力を感じていない！

- ・ワイドスタンスは遠心力への対応です。内脚をたたむことを学んでから、落下/スピードアップを体験してもらう
- ・ワイドスタンスはジャンパーの姿勢（腰を入れ、すねと背骨が平行に動く）
- ・急斜面でピタッと止まれること（前後にぶれない） → 当然ワイドスタンス
- ・逆前後差 ・スケーティング ・内足ターン ・360° ターンなど
- ・斜面に応じたポジショニングを常に意識

【指導員として】

- ・指導では斜面に応じて、テーマを一つに絞る → 「これだけは覚えてね」
- ・必ず始点・終点を決めてから滑る
- ・指導員は一研究者であり、そして一組織者である → 教程が理解できたら、周囲の人々を教え、組織する、つまりネットワークの核
- ・教程は骨格、それだけでは血が流れない → 肉をつけ命を吹き込むのは指導員
- ・指導員には「遊び心」が大事、要は「ヤッホー」なんだ！



2013山スキー教室行事日程・場所等、決る

白銀の世界にシュプールを描き、颯爽とすべる爽快感。雄大な自然に溶け込む一体感を！

スキー協が永年取り組んできた山スキー教室も、すでに20年以上、経過しました。

最近では、多くの団体、クラブで山スキー教室を開く、また、さまざまところでガイドツアーなども増えてきていますが、私たちは、スキー協の特徴を生かし、長年、継続して開いてきた経験等を踏まえ、今シーズンも山スキー教室を計画しました。詳細は、11月9日「山スキーの集い」で発表します。

初めて山スキーをという方にも最適であると自負しています。ぜひ、山スキー教室へ参加してください。

11月9日(午後7時～9時) 山スキーの集い(会場:豊島区生活産業プラザ(8階多目的ホール))

11月18日(午前10時～午後5時)山スキー基礎講座(会場:豊島区民センター(5階 第7会議室))

回	日程	行事名	内容	参加費	主管クラブ
①	1/19(土)～ 1/20(日)	かぐら 新潟	入門。ゲレンデで基礎滑降、シール着脱・登高など、スキー場から稜線へ、	15,000円	ラ・ランドネ
②	2/16(土)～ 2/17(日)	湯の丸高原 長野	入門。スキー場の上が粉雪の高原。シール着脱・登高、樹林滑降など	16,000円	スノーモンスタ
③	3/16(土)～ 3/17(日)	乗鞍高原 長野	リフトでトップへ、シール登高で肩の小屋へ初級者から上級者まで楽しめます。	16,000円	こなゆき
④	4/6(土)～ 4/7(日)	梅池高原 長野	入門。ロープウェイで梅池自然園へ、シール登高で天狗原。パウダーも	19,000円	(ゆきけむり)
⑤	5/3(金)～ 5/6(月)	鳥海山 秋田	東北の名山。秀麗な山容を見せてくれます。積雪の多さと共に最良の山スキーの場	43,000円	三多摩山
⑥	5/3(金)～ 5/6(月)	八甲田山 青森	南・北八甲田山のバリエーション豊富な広大な山域を春スキーの決定版。	50,000円	スノーモンスタ
⑦	5/18(金)～ 5/20(日)	立山・剣沢 富山	北アルプス 3000m級の雄大な斜面の大滑降は爽快感満点。	29,000円	三多摩山

競技スキー委員会から、2012/2013シーズンの日程をお知らせいたします

～ たくさんの参加をお待ちしています！～

お問い合わせ先：tokyoskikyo@yahoo.co.jp

<すべて指導員応用研修扱いになります>

※参加費内容(1泊につき2食、レッスン料、傷害保険)

日程	曜日	行事名	参加費	宿泊	募集人数	申込締切	備考
1/26 ～ 1/27	土日	舞子ポールレッスン	¥17,500	りょうしん	25人	1/18 (金)	舞子スキースクールコーチのGSレッスン *ポール初心者歓迎
2/23 ～ 2/24	土日	練習会+SL記録会 戸狩(仮)					23日は練習会、24日は練馬ヒューマン主催のSL記録会に、競技スキー委員会として全面的に協力するかたちで参加します。 SLレッスン、記録会
3/23 ～ 3/24	土日	花岡ポールレッスン	¥20,000	丸木屋旅館	15人	3/15 (金)	苗場スキースクールコーチのSL/GSレッスン
4/6 ～ 4/7	土日	ガーラ スプリングキャンプ	¥19,000	丸木屋旅館	15人	3/29 (金)	吉岡大輔コーチのフリーレッスン
5/25 ～ 5/26	土日	草津 担ぎ上げキャンプ	¥21,500	不二旅館	20人	5/17 (金)	吉岡大輔コーチのSLレッスン
7/13 ～ 7/15	土日月	乗鞍担ぎ上げ サマーキャンプ	¥36,500	ゲーテベール (仮)	25人	7/5 (金)	SLレッスン(コーチ未確定)

※4月に、競技スキー委員会メンバーを中心に、希望者で大会への参加を予定しています。

興味のあるかたはお問い合わせください。

舞子

<指導員応用研修扱い>

GSレッスン

* ポール初心者
にも安心!

ポールレッスン

※ポールが初めての人、慣れていない人も、基本から、無理なくレッスンが受けられます。
※東京大会の事前練習としても、最適です。

- 日 時 : 1月26日(土) ~ 1月27日(日)
- 場 所 : 舞子スノーリゾート
- 参加費 : 17500円 (1泊2食、レッスン料、傷害保険) *学生は10000円になります
- コ ー 子 : 舞子スキースクールより
- 宿 泊 : りょうしん
〒949-6425 新潟県南魚沼市姥島新田593 TEL025-783-2619
- 申込締切 : 1月18日(金) / 定員25人

スケジュール ※現地で、時間が多少前後することがあります

- 1月26日
- 8:45 ・ 舞子スキースクール前集合
 - 9:00~16:00 ・ GSポールレッスン・初心者フリーレッスン
 - 18:30 ・ 夕食
 - 20:00~21:00 ・ 交流会
- 1月27日
- 7:00 ・ 朝食
 - 8:45 ・ 舞子スキースクール前集合
 - 9:00~16:00 ・ GSポールレッスン・初心者フリーレッスン
 - 16:00 ・ 現地解散



東京スキー協 〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402 TEL/FAX03-3971-4144
競技スキー委員会専用E-mail: tokyoskikyo@yahoo.co.jp

◆故障があっても、スキーはできる？◆
《雪友物語》6 五十嵐民夫

ゆっくりと着実に

●スキーシーズン目前です

北海道から雪の便りが届き始めました。朝の空気が冷たくなり、スキーシーズン間近を肌で感じるこの頃。東京スキー協ではセミナーや研修が開催されていますし、みなさんのクラブでも新しいシーズンに向けての行事に取り組んでいることと思います。

ところで、スキー用のからだの準備はできていますか？ 暑かった夏の間、エアコンの効いた室内で過ごすことが長くありませんでしたか？ 汗をかきたくないからと、運動を控えていませんか？ 「いや、しっかりからだを作ってきた」という方も、たくさんいらっしゃるでしょう。

そこで、このコラムに2回登場しました矢口さん（ラ・ランドネ）の、その後のレポートです。

●黒一点のアクアビクス

7月から水泳教室に、週2回通い始めました。真夏の炎天下に屋外で運動するよりは、水の中の方が77歳の肉体には負担が少ないので、良い判断だったと思います。

しかし、7月後半に腰痛が出てしまいました。久々の水泳だったからか、普段使っていない筋肉を動かしたためだったらしい。整形外科的には特に異常はなく、しばらくすると傷みはなくなりました。

8月に入り、水泳に加えアクアビクスを開始します。これが、なかなか良い。プールに入って歩いたり、ゆっくりとからだを動かすエクササイズです。調子は上向いていきました。何よりも、女性ばかりで黒一点。頑張り

すぎずに、楽しくやっているようです。

●いいかげんが、良い加減

あちこち悪いところが出ていますし、治療後のリハビリもスキーの復活に向けて、何とか順調でした。ただ、それなりの年齢ですから、「いいかげん」に続けています。それが良いのか、劇的な変化はありませんが、徐々に違和感はなくなりつつあります。

自宅では、仰向けに寝た状態で行う運動を続けています。寝たままで脚を左右交互に伸ばすのです。開始当初強くはできませんでしたが、左右に違いがありました。今は思いっきり動かして、左右も差はなくなりました。

●着実な変化

特別体幹が強くなったとか、動きが敏感になったということはありません。普段の生活の中で、小さな変化は感じています。

階段の昇り降りが、楽になっています。足が着いていて、降りる怖さがなくなりました。からだが動かしやすく、歩いていてもふらつきがほとんどありません。

結果はすぐには出ませんが、間違いなく良くなっています。途切れることなく続けるのが、最上の方法です。矢口さんは、スキーシーズンが待ち遠しくなっていました。

●自分のからだと対話する

からだに故障があると、全体に硬くなります。からだを休ませようとするために、硬くして動きを制限するのです。浅くて早い呼吸。寝つきが悪く、眠りも浅い。このままにしていると、悪くなる一方です。

寝る前、布団に横になり、深呼吸。足先からフニャフニャ動かして見て下さい。力を抜いていきます。腰、腕、肩、首、顔。「疲れてないかい？」と、聞きながら動かします。まずは、力を抜いてみましょう。

(2012/10/14)

information

越年ファミリースキー

越年委員会より

越年ファミリースキーのご案内をいたします

2012年 12月 29日(土)～2013年 1月 3日(木)
八幡平リゾートのパノラマスキー場・下倉スキー場

安比スキー場と三つのスキー場を滑る4日間。
今シーズンの全国スキー協競技大会の会場となる下倉スキー場を滑ります。
豊富な温泉と美味しい食事でお正月を過ごしましょう。



※参加費は交通費、宿泊代、スキー教室などで55,000円(会員割引あり)

スノーボード委員会より

スノーボード委員会より

全国スキー協・スノーボード部主催行事のお知らせいたします

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| 1. スノーボード中央研修 | 2012年12月22日～23日
おんたけ2240スキー場 |
| 2. スノーボードフェスタ① | 2013年1月26日～27日
梅池高原スキー場 |
| 3. スノーボードフェスタ② | 2013年2月16日～17日
梅池高原スキー場 |
| 4. スノーボード検定会 | 2013年3月9日～10日
湯の丸高原スキー場 |



※スノーボード中央研修会はボード指導員のみですが、スノーボードフェスタとスノーボード検定会では一般講習も開催予定です。行事要項は12月上旬予定です。

会員証の発行について

周知

組織局より

第45期東京スキー協会員証を発行しました。

各クラブからの会員登録名簿に基づき作成しています。会員番号はあいうえお順になっています。データ管理上、カタカナの氏名が入っています。名字しか入っていないものには氏名の読みを記入、誤りがあれば訂正して、組織局までFAX、郵送でお知らせ願います。

東京スキー協ホームページの改装について(準備中)

周知

広報局より

1. 各クラブのホームページをリンクします

クラブ一覧のコーナーに、こちらで把握できているクラブのホームページをリンクさせていただきますので、ご了解お願いいたします。(更新が長い期間止まっていると思われるものは除きます) 事情があり閲覧はできても掲載できないクラブがありましたら、広報までご連絡ください。

2. クラブの行事日程の原稿をお寄せください

クラブ交流のために、今期のクラブ日程の原稿を募集し、掲載します。詳しくは通信341号(8月号5頁)、年間スケジュールの募集をご参照ください。箇条書き、作表を問わず、図や写真を入れるなど自由形式でお願いします。個別の行事の参加募集でも構いません。

原稿を用意頂ければ差し替えもできますので、お気軽にクラブ行事を宣伝してみませんか!?

11・12月のカレンダー

11月	東京スキー協	全国スキー協	12月	東京スキー協	全国スキー協
1日(木)	常任理事会		1日(土)		指導員中央研修会
2日(金)			2日(日)		〃
3日(土)			3日(月)		
4日(日)			4日(火)	山スキー委員会	
5日(月)			5日(水)		
6日(火)	山スキー委員会		6日(木)	常任理事会	
7日(水)	組織局会議		7日(金)		
8日(木)			8日(土)		山スキー研修会
9日(金)	山スキーの集い		9日(日)		〃
10日(土)		全国理事会	10日(月)	編集会議(変更)	
11日(日)	○初・中級指導員 ペーパーテスト	〃	11日(火)		
12日(月)			12日(水)	○教育技術局会議 ○組織局会議	
13日(火)	教育技術局会議		13日(木)		
14日(水)			14日(金)		
15日(木)	理事会		15日(土)	関東B初・中級指導員	
16日(金)			16日(日)	実技伝達	
17日(土)	○指導員合格への 傾向と対策セミナー ○山スキー基礎講座		17日(月)	通信発行(変更)	
18日(日)			18日(火)		
19日(月)	編集会議		19日(水)		
20日(火)			20日(木)		
21日(水)			21日(金)		
22日(木)			22日(土)	テクニカルフェスタ	スノーボード研修会
23日(金)			23日(日)	(指導員研修会含む)	〃
24日(土)		全国技術部会	24日(月)	〃	
25日(日)		〃	25日(火)		
26日(月)	通信発行		26日(水)		
27日(火)			27日(木)		
28日(水)			28日(金)		
29日(木)			29日(土)	越年スキー	
30日(金)			30日(日)	(1/3まで)	
			31日(月)		